

まちづくり提言の公表（令和7年12月受付分）

※回答内容は、回答した当時の内容を掲載しています。

件名	意見の内容（一部を要約しています。）	回答内容（一部を要約しています。）	担当課
ナベヅルの案内看板について	遠くからナベヅルを見に来た若者が鶴の看板がわかりづらいと話してくれました。確認したところ、確かにわかりづらいと感じました。見えやすくしてはどうでしょうか。	鶴いこいの里が設置している信号手前の方向指示看板については、交差点で曲がること分かるよう表示の変更を検討いたします。また、熊毛総合支所が管理している西原交差点の案内看板については、ツルの渡来時期には視認しやすくなるよう樹木の剪定等を行っておりますが、今後、更新の必要性について検討いたします。 なお、民間団体が設置しております市尻橋たもとの案内看板については、団体へご意見をお伝えいたします。	文化振興課
周南公立大学の工学部の設立について	現在、建設業では、仕事は途切れずあるものの従業員の高齢化や若者の肉体労働への嫌悪感などにより、深刻な人手不足が続いています。周南市の税収に大きく貢献しているのが建設業だと思うのですが、このような状況が続くと市へ払う法人市民税も減っていくのではと感じます。そこで、周南公立大学で工学部（機械、土木）を作ってほしいです。卒業後に市内の建設業に就職してくれた学生には、補助金を出すなどして若者が周南市に残り、就職することで税金を市に払ってくれてるのではないのでしょうか。	工学部系の学部の設置に関しては、大学の公立化前から、アンケートなどで、地元産業界からも期待の声があがっていました。市の方向性としては、既に県内の他大学や高専で工学系の学部が設置されていることや工学系の学部の施設の新設には大きな投資額を要するなどの様々な課題点があることから将来的な課題として位置づけ、継続的に検討を進めることとしています。	公立大学連携課